

みさと自主防災報

「私たちの街は 私たちが守る」
「自分の命は 自分で守る」

平成22年12月15日

第14号

発行 三郷市自主防災組織連絡協議会
事務局 三郷市企画総務部安全推進課
〒341-0026

埼玉県三郷市幸居1155

TEL 048(952)1294

FAX 048(952)6780

ホームページ <http://www.jishubousakai.com/>



三郷市自主防災訓練指導者養成講座

自主防災訓練指導者養成講座修了者290人突破!

地域防災リーダーを育成し地域防災力を高めるため当協議会では、この指導者養成講座に力を入れています。また、指導者養成講座の修了者を対象に、指導者間の横のつながりとフォローアップを目的とした、三郷市自主防災組織訓練指導者ネットワークを組織しています。このように、地域に防災リーダーが増え地域間のつながりもできることで、地域防災力向上が期待されます。これからも、地域の防災リーダーを増やしましょう!

三郷市の自主防災会組織率

対象団体数(町会・自治会等の数)……134団体(※みさと団地自治会は街区単位)

自主防災会の数……123団体 団体数での組織率……91.8%

組織されている地域の世帯数での組織率……92.9%

《参考》(平成22年防災白書より)※世帯数での組織率

全国の組織率……73.5% 埼玉県の組織率……77.6%

災害時に助け合える地域づくりを目指して



日頃より、市民の皆様におかれましては、自主防災訓練に参加されるなど、地域での自主防災活動を盛り立てていただき、ありがとうございます。また、それを支えていただいております、各自主防災会の役員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

当協議会では、地域自主防災活動の充実を目指して、事業を展開して

おります。

中でも地域防災力の向上を目的とした防災リーダー育成事業では、平成16年度から毎年自主防災訓練指導者養成講座を開催し、現在では290名を超える方が修了し、地域で活躍をされています。また、講座修了者で組織しております、三郷市自主防災組織訓練指導者ネットワークでは、

三郷市自主防災組織連絡協議会

会長 中村 智 英

各地域での連携や指導技術の更なる研鑽を行い、地域住民の防災意識高揚に活躍いただいております。

平成21年12月には、これら当協議会での活動が、総務省消防庁に取り上げられ、政府広報番組で放送されました。このような喜ばしいことは、これからの活動の励みになるものと思います。

今年度は、気象変動が激しく、夏の猛暑に続き秋以降は各地で集中豪雨の被害が多発いたしました。このような災害が起こる度に、地域で協力しあうことの大切さを実感いたします。

自主防災活動は、防災をキーワードに、地域の皆さんが結束してコミュニティーを育める一つの手段であると思います。当協議会では、地域の輪を深めながら各自主防災会が益々充実するよう、事業を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

平成21年度活動報告

各事業を円滑に実施するため、役員会及び各部会を平成21年度は、11回行いました。実施した各事業については、次のとおりです。

平成21年6月13日(土) 総会・活動事例発表

文化会館大会議室で開催。事業報告、決算、事業計画(案)、予算(案)の承認。出席者106名。

平成21年7月12日(日) 自主防災訓練指導者養成講座

防災リーダーの養成。受講者62名。

平成21年8月23日(日) 第22回三郷市総合防災訓練

協力参加。参加者24名。

平成21年10月18日(日) 指導者ネットワーク全体会及び研修会

講演：阪神淡路大震災での災害支援活動参加体験について。参加者45名。

平成21年11月15日(日) 自主防災訓練指導者養成講座

受講者59名。

平成21年11月から平成22年2月 ブロック情報交流会

市内7ブロックで開催。各自主防災会の活動状況や運営上の課題などについての情報交換を実施。参加者159名。

平成21年12月15日(月) みさと自主防災報発行

第13号を全戸配布。

平成22年1月17日(日) 防災講演会

「地球温暖化の影響と災害への備え・心構え」気象予報士：田代氏。参加者327名。

平成22年2月28日(日) 自主防災訓練指導者養成講座

受講者68名。

平成22年度事業計画

および予算の概要

平成22年度総会において承認されました、事業計画及び予算の概要は次のとおりです。

事業計画概要

平成22年6月12日(土)	総会、活動事例発表会
平成22年7月25日(日)	自主防災訓練指導者養成講座
平成22年7月～	ホームページ更新
平成22年8月29日(日)	第23回三郷市総合防災訓練
平成22年10月17日(日)	指導者ネットワーク全体会及び研修会
平成22年10月～	ブロック情報交流会
平成22年11月14日(日)	自主防災訓練指導者養成講座
平成22年12月15日(水)	みさと自主防災報第14号発行
平成23年2月8日(火)	視察研修
平成23年2月20日(日)	自主防災訓練指導者養成講座

予算概要

収入については、主に会費、三郷市補助金及び前年度繰越金で、約123万円を見込んでいます。

支出については、約102万円の事業費を計上し、指導者養成講座、広報誌の発行、視察研修、ホームページの更新などの事業を進めてまいります。その他、事務費、会議費等を計上しています。

自主防災活動の実績

平成21年度自主防災訓練実績 訓練実施団体 66団体 参加者数 4,882名
平成21年度資機材等整備状況(補助金活用分) 47団体

13町会による「早稲田地区合同防災訓練」終了!

北美町会自主防災会 会長 宮田 隆男

9月26日(日)午前9時から丹後小学校において、平成22年度の早稲田地区13町会自主防災会(半田・丹後上・丹後下・早稲田1丁目・早稲田つつみ・大広戸・仁蔵・彦成5丁目・三郷2丁目・幸房上・北美・みどり・三郷1丁目町会自主防災会)による、合同防災訓練が秋晴れの好天のなか514名の参加で実施されました。

この訓練は、実行委員会組織を作り毎年輪番制で幹事町会(今年は北美町会宮田実行委員長)を決めて開催しております。

訓練想定は、「平成22年9月26日午前7時20分ごろ、関東南部に震度6の地震が発生した。各町会の全域で家屋の倒壊、道路の損壊及び交通機関をはじめ、水道・電気・電話等ライフラインに被害が発生した。各自主防災会の災害対策本部を丹後小学校に設置し、会員の避難を開始する」ということでありました。

初に、初期消火訓練(水消火器・てんぷら鍋・バケツリレー)が行われました。各町会から15名の参加で一班、二班に分けて実施しました。次に救護訓練(三角巾の使用方法・心肺



蘇生法=AED・手作り担架作成、搬送)初期消火訓練同様、各町会から15名の参加で一班・二班・三班に分かれて実施しました。どちらの訓練も、今までの反

省を踏まえた班体制を作り、実施した結果、例年より効率的に訓練が出来たようです。また、班ごとに責任者をたててプラカード持って会場で誘導したことが、参加者はもとより見学者にとっても分かりやすく出来たと感じました。訓練種目の中で、心肺蘇生法は益々需要が高まってきている種目といえます。参加者も真剣に取り組んでいました。

この間、各自主防災会では給食給水訓練を行い、豚汁・握り飯・混ぜご飯・カレー等作り上げておりました。校庭では、ポンプ放水訓練が行われました。消防団員による一斉放水実演であります。秋晴れの空に放水された水が華やかに映し出されていました。訓練終了後の閉会式のなかで講評があり、消防本部北分署からは地域に根差した一層の防災体制作りで「自分たちの街は自分たちで守る」。安全推進課長からは、市が推進している自主防災訓練指導者養成講座に参加して「地域の防災リーダー」を増やしてほしいとのことであります。

この訓練を機に早稲田地区並びに各町会防災会の訓練技術の向上と更なる住民間のコミュニケーションが図られたと思います。また、実施に向けて2回の打合せ会を開催しており、取り決め事項等も年々徹底されてきております。阪神淡路地震以来、全国的に叫ばれています「安心・安全な街」を望むものですが、災害はいつやってくるか分かりません、そのことから「防災訓練」は最も自分自身や家庭、地域に役立つものと考えます。

結びに、この訓練に会場や放送設備等の協力をいただきました、丹後小学校石井校長先生始め、各関係団体の皆様に心からお礼を申し上げます。

事例発表

地域活性化は組織力とリーダー育成が急務

防災活動は自助と互助の絡み合い体制が肝要

高州・東町地区11町会長連絡会 会長 菊地 靖孝

去る6月12日、三郷市自主防災組織連絡協議会にて、高州・東町地区11町会長連絡会(以下高・東地区と省略)の自主防災組織活動の事例発表の機会を頂き、発表致しました内容につきまして、ここにダイジェスト版としてあらためて報告させていただきます。

高・東地区は三郷市の東南に位置し、大場川の南側にあって比較的区割りとしては、固まりやすい地理的条件に恵まれており、11町会が組織されております。

しかしながら埼玉県及び三郷市の最東南端に位置することによって、様々な面で立ち後れていることに危機感を持って、昭和57年に高州・東町地区11町会長連絡会が発足したのであります。

よって単独の町会だけでは、防災問題をはじめとして防犯問題、福祉の問題、教育の問題、道路整備の問題等々様々な面で限界が感じられて、自助努力は当然のことではありますが、公助を求めるのみでなく「自分達の街は自分達で守る」をテーマに互助精神のための結束が図られたのが高・東地区の連絡会組織であります。

自助・互助努力の先ず取り組んだのが「防災問題」「防犯問題」であります。11町会の連携は、町会のみではなく消防団・老人会・PTA・愛育班・民生委員等々を巻き込んだ体制を狙いとしております。

とりわけ防災問題については、地域の防災リーダー育成の

ために4年前から日本防災機構が認定する資格「防災士」を11町会で35名の資格者を誕生させました。

この資格は、まだ国家資格ではありませんが、機構は国家資格のための準備を行っております。日本全国で防災士資格者は、10月末現在41,380人の多きに昇っております。

三郷市自主防災組織連絡協議会がおこなっている「指導者養成講座修了者」とドッキングさせることが名実共に防災リーダーと考えております。

現在、地域活性化の為に何よりも急務なのは、「町会運営のための力強い燃えるリーダー」、「防災・防犯のための行動するリーダー」育成ではないかと感じております。待たれるのは「百の理論よりも、一つの力強い実行力」が待たれます。高・東地区で保有している青色回転灯パトロール車は35台あり、災害時の広報車としての機能を持たせると共に、防犯パトロール車として活躍しております。

まとめとしては、「町会単独の自助活動」と「11町会連携の互助活動」の絡み合いが重要であると共に「地域のリーダー育成」が地域活性化の鍵でしょう。



広報機能
青パト車の整列

「青パト車」は、防犯のみならず災害時に於いても「緊急車両」として皆さんの安心・安全のために活躍します
特に歩行者が困難な方の避難には欠かせない存在です
その数、11町会で現在34台が登録されています

**三郷市自主防災組織
連絡協議会役員**
(任期 H23.3.31まで)

- 会長 中村智英
(彦成2丁目町会自主防災会)
- 副会長 菊地靖孝
(東町みなみ町会自主防災会)
- 副会長 岡本正
(さつき平1-2-2自治会自主防災会)
- 会計 菅原みづ子
(みさと団地二街区自主防災会)
- 幹事 笠井良男
(みさと第三住宅自主防災会)
- 幹事 斉藤公一
(戸ヶ崎7丁目西町会自主防災会)
- 幹事 裏部源治
(戸ヶ崎美郷町会自主防災会)
- 幹事 中田満
(市助町会自主防災会)
- 幹事 大河原貢
(鷹野東町会自主防災会)
- 幹事 松川文雄
(丹後上町会自主防災会)
- 幹事 加藤英泉
(三郷2丁目町会自主防災会)
- 幹事 佐藤俊彦
(早稲田第11団地自主防災会)
- 幹事 藤井経義
(三郷早稲田第一住宅自主防災会)
- 監事 小谷野芳男
(タワースII自治会自主防災会)
- 監事 前田雅久
(谷口南町会自主防災会)

自主防災訓練指導者養成講座

自主防災訓練指導者養成講座修了者 (第16期～第18期)

早稲田ブロック

- 加藤 朝義 宮田 愛和 二丹田正夫 下田 晴一
- 加藤 政義 海老原 隆 鈴木 保雄 大久保貴章
- 森 雄 河田 善之 鈴木 正昭

早稲田団地ブロック

- 熊川 治夫 渡会 治夫 生駒健一郎 大西 琴路
- 鍋田 尚子

東和東ブロック

- 皆川 俊夫 福岡 和夫 稲生 正實 飯田 明
- 渡部 正久 田中 昭吉 篠田登志一 亀井 巧

東和西ブロック

- 夏加 知子 高橋 庸 青柳 安勇 永見 裕正
- 貴部 源治 金子 相 伊豆倉光幸

彦成ブロック

- 佐藤 嘉明 深井 義雄 山崎 富三 石山 孝次
- 宇田川嘉光 安部 秀典 篠田 良雄 富田 功
- 豊田 明 榎本 文雄 田内 孝司

みさと団地ブロック

- 尾崎 隆 壘 典子 川崎 節子 谷口 格
- 佐藤友利子 起田 正直

さつき平ブロック

- 森 俊人 吉野 昌樹 鈴木 浩造 鈴木 秀孝
- 阿部 和郎 三上 一弘 樋口 敬二 青木 克成

「私たちの街は 私たちが守る」のキーワードのもと、各自主防災会活動の活性化と地域防災力向上を目的に、地域防災リーダーの育成事業として、本講座を平成16年度から開催しております。

講座は、自主防災訓練を実施する基礎知識と技術の習得を目指し、3回の受講で修了としています。1回目は体験、2回目は理解、3回目は指導という形でステップアップする内容で進めております。

修了者がいる自主防災会へは、本連絡協議会保有の訓練資機材(煙体験ハウス・水消火器など)の貸し出しを行い、地域にあった自分たちの防災訓練を実施していただいております。自主防災訓練が、受身の訓練から自発の訓練へと、我々の目指す地域の防災力向上が目に見えて高まっているものと感じております。

第16期から第18期の講座で、次の57名の方が修了いたしました。防災リーダーとして、地域での活躍を期待しています。

消防団との連携で地域防災力UP!

三郷市消防団は、6分団24班の構成で市内全域の消防活動を担っております。消防団員は、自らの仕事に就きながら、



火災や災害時に非常勤の公務員として消防活動に当たります。近年、市外に勤める方の増加などで、定員360人に対し325人の在籍と、団員が不足しているのが現状です。

大災害となると、消防署だけでは市内全域の災害対応は困難であり、地域の消防団と自主防災組織が協力して、消火や救出などを行うこととなります。

消防団の機能を有効に地域で活かすためにも、消防団員の充実は不可欠です。消防団員の募集など地域ぐるみで

協力することも、地域の防災につながることと思います。

災害時、地域の住民として共に活動する消防団と自主防災組織が、相互に連携し効果的に災害対応を行うためには、訓練など日頃から顔を合わせて、協力関係を築いておくことが大切だと思います。

地域の協力の輪を広げて防災力を高めていきましょう。

【消防団に関する問い合わせ】
消防総務課 TEL 952-6719

新規会員紹介

**香匠免町会自主防災会
(彦成ブロック)**

- 設立 平成22年1月15日
- 世帯数 510世帯
- 役員数 12名

**クレド三郷早稲田自主防災機構
(早稲田団地ブロック)**

- 設立 平成22年10月25日
- 世帯数 43世帯
- 役員数 9名

第7回埼玉県東部地域救急フェスタに参加して

三郷市自主防災組織連絡協議会 幹事 斉藤 公一

9月11日(土)三郷市総合体育館に於いて、第7回埼玉県東部地域救急フェスタ実行委員会主催で開催されました。

「命を大切にする街づくりを目指して」と題して行われた「救急フェスタ」は、1チーム3~4名に1人の指導員につき、AEDを用いての人口呼吸を含めた心肺蘇生法といった、質の高い救命講習が行われました。

少人数で繰り返し繰り返しの練習は、「その日」が訪れた時に対応するために大変有効なものであったと実感しました。

今後、応急処置の出来る人を一人でも多く育成するためにも、このような講習会の開催が望まれます。

